

ベイタウンに久しぶりの大雪



1 月 6 日 (木)、11:00 頃に降り始めた雪はお昼過ぎにはだんだんと本降りになり、日の暮れる頃にはベイタウンの景観を一変させるほどに降り積もりました。

雪はここしばらく降っていなかったので不意を突かれたような恰好になりましたが、夕刻の街灯りのともったヨーロッパ風の街並みの風景はベイタウンの新しい魅力を引き出してくれたようです。

写真は 2、4 番街間の通りからマリノフォートを望むイチョウ並木。CPW 在住の黒澤さんがスマホで撮影した 1 枚です。

雪が積もると喜ぶのは子どもたち。午後には広い芝生のある 1 丁目公園では、足跡も何もない真っ白の平原が誕生し、それをめがけて小学生が自転車のタイヤ跡で模様を描き始めました。そうこうするうちに子どもがどんどん集まり始め、雪遊びが始まります。それを待って重いカメラを持って取材に出かけました。

雪原と化した 1 丁目公園でひととき元気な声を出して雪ダルマを作っていた子どもたちを撮っていると、「何を撮っているんですか」と向こうから声をかけてきました。「ベイタウンニュースを知っている?」と聞くと、見たことがあるとの返事。子どもたちは美浜打瀬小の 3 年生で、今日は学校があったけどお昼までだったので、帰ってすぐに雪遊びに来たとのこと。僕は記者で君たちの雪遊びを撮っているのだという、載るかも知れないと言って喜んでいました。

賢い子どもたちで、遊んでいるところを撮りたいんだという、雪ダルマを転がしはじめ、ポーズまで作ってくれます。何時頃から遊んでいるのと聞くと、うーん。1 時 47 分頃かな? と分単位の答が返ってきました。

話しているうちにすっかり仲良くなりました。また会おうねと言って別れましたがその後は残念ながら会えていません。また雪が降らないかと待っています。

その後も雪は降り続き、午後 4:00 頃には一面が銀世界になった (写真右)。気温が低く雪が降り止まないの、大人達は翌朝の道路凍結を心配していた。



少し雪が積もり始めた正午過ぎの頃の風景。芝生の上には少し積もっているが、道路はまだまだで、一面銀世界という風景にはならないだろうという雰囲気だった。



まだ誰も足を踏み入っていないバージンスノーの雪原に一番乗りでやってきてシュプールを残す子どもたち (写真左上) 少し経つと雪は本格的に積もり始め、大きな雪ダルマを作ることにもできるようになり、子どもたちの興味もそちらに (写真右上)



日没前に窓から撮った 1 丁目公園。暗くなりかけていたが、子どもたちが帰る様子はなく、日が暮れるまで遊んでいた (写真上)

子連れでも大歓迎 「みはま合唱団」

子連れ大歓迎。子連れじゃなくてももちろんよし。そんな若い女性の合唱団がコアで活動中です。「子育て中でも歌いたい」というお母さんたちが集まってできました。合唱熱が高いといわれるベイタウンでもユニークな合唱団です。コロナ禍で開け放たれたホールのドアの中から聞こえる若い女性の歌声に惹かれて取材して来ました。【松村】

「名前の由来は」と聞くと、「もちろん、美浜のママの合唱団です」。始めたのは2014年。団長の瀬下玲美さん、指導者の山中和穂さん、を含む5人でスタートしました。山中さんは学生時代からの合唱好きで、現在もいくつかの合唱団の指導をしています。平均年齢は30～40代と非常に若く、メンバーはベイタウンに限らず近隣からも多くの方が来ているそうです。

取材したのは昨年12月でした。練習会場のコア・ホールに入ると20ほどの座席と指揮者の間には真ん中にはシートがひかれ、未入园児くらいの子どもたちが2、3人遊んでいます。その子たちを挟んで指揮者の山中さんと団員が向かい合って歌うというなんとも珍しい配置です。メンバーは約40名ほどですがみなさん忙しく常時出席は15人くらい。その中にはいつも子連れが2、3組いるそうです。

こんな雰囲気ですからジャンルはもちろんポップス中心の選曲かなと思っていました。しかし予想に反して発声練習で歌い出したのは「ベネディクト」という正統派の合唱曲。この日はたまたまクリスマス会を翌週に控えていたので、定番のクリスマス曲が中心の練習でした。衣装や振り付けを

考えながらの練習はさながらミュージカルのようでした。歌うときは自然と身体が揺れ、楽しそうに歌います。その後に練習していたのは「カンターテドミノ」という正統派合唱団の定番のような曲でした。美しいハーモニーには心がやすらぎます。

指導者の山中さんによると、「選曲はジャンルに捕らわれずに選びますが、『やることはちゃんとやる』のが基本」だそうです。そういえば冒頭の発声練習でもピアノを使わずアカペラで響くことをルーチンにしているようでした。

若いお母さんたちの合唱団ですから雰囲気はとても楽しく、練習中に子どもたちが騒いでも近くににいる人がそっと収めるなど見ていてとても気持ちのいいものでした。10年近くつづく合唱団なので、メンバーの中にはも

う小さな子どもはいないというお母さんもいます。若いお母さんにとってはこんな先輩ママの存在はとても心強く。合唱が目的のサークルですが、休憩中は子育て教室のような雰囲気もありました。

驚かされたのは若いママたちのスマホの使いこなしでした。練習中にたまたま手違いで楽譜の準備がない曲をやってみようということになったのですが、誰かが「その曲ならスマホに楽譜があるわよ」というと、すぐにみんながスマホを出して画面に楽譜を表示させ、それぞれが自分のスマホをみながら歌っていました。切り替えの早さにも驚かされます。子育ての話で楽しく盛り上がっているときでも、山中さんが指揮をはじめると全員の目がすぐ真剣になり、曲に集中します。



11番街が2回目の大規模修繕工事

先日バレンタイン通りを歩いていると11番街の階段部分に足場が掛けられていました。2回目の大規模修繕工事が始まったようです。

11番街は第2期の番街ですが長期修繕の工事は第1期の1～6番街よりも早い（短い）スパンで行っていることになります。

これから第1期、第2期の建物（1～12

番街）の大規模修繕工事が順次はじまりこの先数年ベイタウンのあちこちで建物に足場が組まれる風景を見ることになるでしょう。

ベイタウンは年々新しい建物が建てられてきたので、これらの建物が大規模修繕工事を始めると順々に工事がつづき、街で大規模修繕工事の足場が見えない時期はしばらくなくなります。記者の住む10番街も来年には大規模修繕工事が始まる予定です。

「あいさつ運動」の成果？

1月中旬の頃、散歩の帰りに1丁目公園脇の道で小学生の女の子と目が合いました。すると女の子は少し恥ずかしそうな顔を見せましたが、すぐに思い切ったように凛とした顔つきになって「こんにちは」と声を掛けてきました。小さな子だったので、恐らく小学校3年生くらいでしょうか。面識はないし、僕がベイタウンニュースの記者だと言うことを知っている様子でもありませんでした。ただ通りがかりのおじさんと目が合ったので、という感じでしたが、後で考えてみると先月のベイタウンニュースには子ども円卓会議が「あいさつ運動」を1月から始めるというお知らせがありました。

こんな楽しい合唱団。70代の男性記者が「女性でないとダメですか」と聞いてみましたが、愚問でした。「授乳することもあるの」とやんわりと断られました。

みはま合唱団

練習日：金曜日 10:00～12:00 / 月3回

場所：打瀬公民館コアホール、他

会費：2,000円 / 体験無料

入会金：1,000円

ブログ：<http://ameblo.jp/mihamama-choir/>

連絡先：mihamama.chor@gmail.com

com



そうか、あの子はこの「あいさつ運動」のことを思いだして、少し勇気を出して僕にあいさつをしてきたのだろうな、と思い当たりました。多分授業が終わって帰りの会などで先生から「今日から『あいさつ運動』がはじまります。道で知っている大人の人に会ったら『こんにちは』と声をかけましょう」とでも言われていたのでしょう。

もちろん僕も「こんにちは」と返すには返したのですが、少し当惑した感じがあったかも知れません。こんなことならもっと大きく、元気な声で「こんにちは」と返せばよかったと後悔しています。こんど小学生と目が合ったら、こちらから先に元気な声であいさつをすることにします。



今回取材したのは、今年の「ベイタウン年男・年女」で紹介した、セントラルパーク在住の佐々木卓司さん。集合写真の中で、スカートをはいて歩行補助具を使って写っていたおじさんです。ご夫婦で参加されてインタビューもしましたが、話を聞けば聞くほど面白い人でした。自分の障がいのことや、生き立ちなどを、とてもオープンに語っていただきました。【小原】

●なぜ女性の服装をしているのですか。

私も高齢者となり、物忘れも多くなりました。でもそれを不安に思うのではなく、むしろ新しい人生の到来と受け入れ、自由に楽しく生きる事をするのが認知症の改善に一番よいのでは、と思い至りました。それをどう伝えていくかと思案していた時に、昨年たまたま膀胱機能不全でお腹に管を入れ採尿バッグを身体に装着することになりました。そうするとズボンでは不自由なので、家ではスカートにしていたのですが、そうだ、これを利用しようと思ったのです。

昨年4月に「働き方改革」を会社に宣言して、女子として勤務し始めました。性別にとらわれずに髪型や服装を決めています。妻は最初驚いたようですが、受け入れています。私が元気に楽しく働く姿を見ているデイサービスのご利用者さんもスタッフの方々も、これまた楽しく見守ってくれて、笑顔が増えてきたようです。

●介護関係の仕事なのですね。

私は、現在認知症の方たちに一日楽しく過ごしていただくデイサービスに勤務しています。また、ボランティア活動として毎月2か所のデイサービスにセラピードッグの資格を持つチワワのメロンちゃんを連れて行き、バンジョーとハーモニカの演奏をしながらセラピードッグの体験会を開いて

います。メロンちゃんは誰に抱かれてもおとなしくニコニコしています。それまで怒ってばかりいた方が笑顔になったり、一言も言葉を発しなかった方が「可愛いねえ」と言い出したり、様々なことが起こります。

●出身はどちらですか。起伏に富んだ人生だったのではないですか。

私は、北海道旭川出身で、父は政治家という家に育ちました。姉は「こんな生活の苦勞も無い家にはいけない、早く家を出なさい」と伝えてフランスへ行っていました。私も家を飛び出し、工場勤めから始めて印刷会社、出版社、葬儀屋など7つの業種を経験して生きてきました。生まれつき結核性胸椎カリエスという一種一級の重度障害者ではありますが、バラエティーに富んだ生き方をしてきたと思います。

年をとったら、もうなんのしがらみもないのだから、死ぬまでに自由にやりたいことをやって悔いを残さない生き方をしています。



わくわくおはなし会

わくわくおはなし会 2月のおはなし会は完全入れ替え制の2回公演
日時：2月19日（土）

時間：1回目：10時から、2回目：11時から

プログラムは各回同じ内容、1回45分程度の完全入れ替え制
場所：ベイタウン・コア講習室

定員：各回10名（感染防止の観点から十分な距離を取らせて頂きます。マスク着用でご参加ください。）

ご好評につき2回公演としました。感染症対策として、予約・定員制となりますので、ご参加希望の方は下記メールアドレスにて、代表者のお名前・ご参加人数（お子様の場合は年齢も）・ご希望の時間を明記の上、お申込みください。年齢制限はありません。皆さまに安心安全にご参加いただけるよう、細心の準備をして開催させていただきます。

※最新情報はブログでご確認ください

◆お申込み・お問合せ先：waku2book@gmail.com

ブログ更新中・見てね** <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/> **

寺子屋工作ランド

「紙コマ」をつくらう

日時：2月26日（土） 午前9:30～11:30 毎月第4土曜日

場所：ベイタウン・コア芸芸室

工作用紙5枚をはりあわせたコマです。きれいな模様をつけます。

持ってくるもの：はさみ、木工ボンド、クレヨン

参加費：50円（保険料）

第208回ファツィオリの会

日時 2月27日（日） 午前9時30分～

場所 ベイタウン コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏やその他の楽器演奏をして頂けます。ただし、今回もコロナウィルス感染拡大防止対策として、歌唱、金管楽器演奏は行えません。

また、入場人数の制限、演奏中も換気のためホールドアを開放など新しい形での開催となります。担当者の指示に従って、ご参加いただきますようお願い申し上げます。非公開での利用も受け付けております。状況により中止の場合もあります。

最新の情報は、<http://baytown-core.net/top.html> をご覧ください。

申し込み締め切り 2月20日（日）

申込先 ryokosonata64@gmail.com（小野寺）

2月のベイタウンかふえ ～中止のお知らせ～

2月9日（水）開催予定の「かふえ」は、オミクロン株の感染拡大の為、残念ながら中止する決断をいたしました。

3月9日（水）の「かふえ」に関しましては感染状況次第ですが、無事に開催できることを期待しております。

よろしければ、当会のHP <https://www.baytowncafe.jp> をご覧下さい。

問い合わせや、連絡等がありましたら、

うたせ認知症を考える会 中澤（TEL:211-0588）までどうぞ。



つどいまなびつなぐ

ベイタウン・コア / 公民館通信

●今後の主催講座

文芸講座～近代文学を彩った女流作家たち～

日時：2月18日（金）、25日（金）13：30～15：30

場所：講習室

対象：成人 抽選 20名

講師：文芸評論家 鳥海 宗一郎 先生

※受付 2月2日（水）～2月8日（火）窓口または電話

はじめての音楽との出会い～おとのゆうえんち～ Vol. 2

音楽は子供の大事な栄養素。素敵なおの音楽を親子で楽しみましょう。

日時：2月20日（日）10：30～11：30

場所：ホール

対象：就学前児と保護者 抽選 25組

講師：ジュニアコーラス フェアリーズ主宰

森本真由美 先生

※受付 2月2日（水）～2月8日（火）窓口またはメール

アドレス：oubo.utase@ccllf.jp

記載内容：保護者及び児童の氏名・年齢、住所、電話

幕張ベイタウン室内合奏団が特別コンサートを企画中

日時：3月4日（金）17：00～18：00

会場：幕張ベイタウン・コア 音楽ホール

久々のコアホールでの本格コンサートです。

コロナ禍のため状況によって中止／延期の可能性があります。詳細は公民館にて決まり次第ご案内します。

健康フェスティバル

社協ボランティア委員会・打瀬公民館 共催事業

普段気になってはいても、なかなか測定する機会がない方を対象に、各種身体測定、健康相談を無料で行います。

（腹囲、身長、体組成、血圧、骨密度、脳年齢 看護師による健康相談）

日時：3月17日（木）14：00～16：00

場所：ホール

対象：成人 先着 50名

協力：千葉市社会福祉協議会 美浜いきいきプラザ

※受付 2月22日（火）～ 窓口または電話

●新型コロナウイルス感染拡大への対応について

オミクロン株による感染が急速に拡大する中で、公民館の利用について問い合わせが多く寄せられています。現在（1/16）のところ、新たな制限について指示はありません。皆さんそれぞれが判断いただき、利用される際は消毒、換気等により一層のご留意をお願いします。なお、開館時間や活動制限の変更があり次第、メールや掲示等でお知らせします。

キュービックカフェ 2月・3月のイベント・ワークショップ



毎月第2土曜日はキュービックの日！『キュービックマルシェ』

<2月> 2/12（土）11:00～

<3月> 3/12（土）11:00～

コミュニティスペース絆にて。「例のパンや」さんも出店予定です。

検温・消毒・マスクの着用にご理解・ご協力ください。イベント最新情報はキュービックカフェホームページをご確認ください。

イベント詳細・お問い合わせ：キュービックカフェ

<https://www.cubic-cafe.com/>



もしものときに、備えて安心 電気も備蓄する時代へ。

水や食料の次に欠かせないもの、それが電気です。いつ起こるか分からない地震や台風、大雪などの自然災害による停電対策に、電気の備蓄も始めてみませんか？非常時に心強いポータブル電源は今、一家に一台は欲しい防災対策の必需品です。



大容量ポータブル電源 SABUMA S2200
▼希望小売価格：245,000円(税抜)
数量限定 194,040円(税抜)

被災経験者が考える
「事前に備えておけばよかったもの」

- 1位 水
- 2位 保存食
- 3位 ポータブル電源



(2020年8月25日 auコマース&ライフ調べ)

大容量
2,258
wh

2.5時間の
急速充電

出力最大
4,000w
定格2,000w

放電ロスは1年でわずか5～10%

長期保管ができるから、災害時にもすぐに使えて安心

停電時にもほぼ全ての家庭用電気製品が長時間使用可能

スマホ
150～
180台分
充電可能



電気毛布

48時間



扇風機

51時間



冷蔵庫

59時間



ノートPC

45回

※数値は理論値です。

キャンプや車中泊でも大活躍！



目標金額 2400%超え！

クラウドファンディング

Makuake

先行予約
特別割引

最大 31%OFF

2022年2月27日まで開催中▶



UR 賃貸住宅

URの自立型高齢者向け住宅

遠方に住む親世帯と近居を考えてみませんか？

親世帯が遠方にお住まいだと何かと心配ですね。

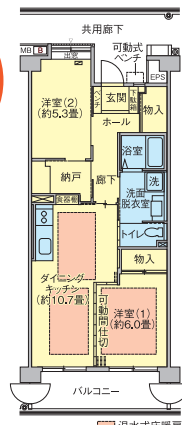
ベイタウンからも近いボナージュ稲毛海岸への転居をご検討されませんか。

フロントサービス、緊急時の対応のほか、

生活・健康相談、コミュニティ活動の支援を実施しています。

ボナージュ稲毛海岸

JR京葉線
「稲毛海岸」駅より
徒歩 4分



●住 所：千葉県千葉市美浜区高洲三丁目5番6

●利用料金：（家賃）＋（共益費）＋（基礎サービス料）（49㎡ 14万円台～）

●管理運営：一般財団法人高齢者住宅財団 【<https://www.koujuuzai.or.jp/>】

お問い合わせ

独立行政法人都市再生機構

ボナージュ稲毛海岸現地案内所

財団 ボナージュ稲毛海岸

検索

0120-81-4064

携帯電話の方は

TEL. 043-277-8700

受付時間10:00～17:00

※フリーダイヤルは携帯電話からはご利用できません。携帯電話からは043-277-8700にご連絡ください。
※ご見字をご希望の方は、あらかじめ上記募集案内所までご連絡ください。

